

| | | | |
|---|--|-------------|-------------------------|
| 授業科目名：TLP320 総合演習 | 教員の免許状取得のため の 必修科目／選択科目 | 単位数： 2単位 | 担当教員名： 菅原 洋 佐伯 知美 |
| 科目 | 教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目） | | |
| 各科目に含めることが 必要な事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 人類に共通する課題又は我が国社会全体にかかわる課題の分析及び検討 ・ その課題について生徒を指導するための方法及び技術 | | |
| 授業の到達目標及びテーマ 高等学校教員を目指す受講生が着任後、創意工夫を生かし特色ある教育活動を展開できるよう、人類に共通する課題や我が国社会全体にかかわる課題を考察し、高等学校生徒の「人格の完成」を目的として指導をするための方法や技術を習得する。 | | | |
| 授業の概要 授業は、プレゼンテーション、ディスカッション、ワークショップなど、演習を中心にして進める。文献の分析・検討にとどまらず、実践的な授業展開を行う。詳細は、オリエンテーションで説明する。 | | | |
| 授業計画 第1回「この科目で学習すること（オリエンテーション）」（菅原・佐伯） この科目で学習する内容に関して、大まかな流れを把握する。 第2回「小・中・高教育の理念と現状」（佐伯） 「国民の学習権」「教育の機会均等」などの理念を学び教育の現状を分析・検討する。 第3回「生徒指導・進路指導」（菅原） 「生徒指導・進路指導」の実践について分析・検討する。 第4回「特別支援教育」（佐伯） 「インクルージョン」の理念を学び「特別支援教育」の現状を分析・検討する。 第5回「教育委員会や地域の専門機関との連携協力」（菅原） 学校と教育委員会や地域の専門機関との連携協力の実践について分析・検討する。 第6回「生涯教育・社会教育・家庭教育」（佐伯） 学校以外の場における教育の意義や現状を分析・検討する。 第7回「学校、家庭、地域住民等の連携協力」（菅原） 学校、家庭、地域住民等の連携協力の実践について分析・検討する。 第8回「子どもの生活・人権・福祉」（佐伯） 子どもの生活・人権・福祉の現状を分析・検討する。 第9回「今後の小・中・高教育で取り扱うことが必要なテーマ」（佐伯） 地球環境、異文化理解、少子・高齢化、横断的・総合的な学習などについて分析・検討する。 第10回 授業のまとめ | | | |
| テキスト 浪本勝年代表編集『2010年版ハンディ教育六法』北樹出版 必要に応じて適宜、資料を作成し、配布する。 | | | |

学生に対する評価 以下を総合的に評価する。60 点以上に単位認定をする。

1 授業でのプレゼンテーション(60%)

2 小レポート(随時) (20%)

3 発言・発表など授業への自主的・積極的参加を評価する (20%)

なお、欠席は3回まで認められるが、欠席1回につき5点減点される。4回以上の欠席は単位を認定しない。